

令和7年度 浜松市立中ノ町小学校 学校評価報告書

1 自己評価

別紙（後期学校評価アンケート結果のお知らせ）のとおり
別紙資料をもとに説明

2 学校関係者評価

2月18日（水）に開催した学校運営協議会等において、自己評価結果、考察及び改善方策について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

(1)学校評価について

- 子供たちの自己評価が高いことはいいこと、中ノ町小の子供たちは優しい。
- 粘り強く学習に取り組むための手立てである「自分みがきタイム」の意図があまり保護者に伝わっていないのではないか。
- 安全な生活については、大人の目から見るととても危ない行為が多いので子供たちに気付かせるようにさせたい。
- TTY（行動支援プログラム）の活動がとてもよいのでもっと地域に広がるといい。

(2)学校いじめ防止基本方針に基づく取組み状況について

- 今年度のいじめ認知件数、取組み状況、来年度に向けた基本方針について承認していただいた。
- 子供たちの言葉遣いが気になる。家庭でもよくないのではないか。
- 今後も保護者にスマホ社会の有効性や危険性を伝える（教える）場があるといい。
- 学校で設けている生徒指導の日（アンケートの結果から子供たちに話を集中して聞く日）の取組みはいいと思う。

(3)その他

- 150周年に向けて3年生の地域の歴史を学ぶ学習がとてもよかった。地域の資源（人や物）を生かす学習をしてほしい。

3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

○「自分みがきタイム」の意図を保護者に周知する手立て

- ・4月の参観会後に行っている「自分みがきタイム」の説明だけでなく、今求められている学力についても説明する。また、「自分みがきタイム」の実践例を紹介する。

○安全についての子供たちの意識を高める手立て

- ・4月当初行っている「通学班会」の際に、交通安全についての話を全児童対象に行い、その後、学年ごとの交通教室を行うことで、子供の安全に対する意識を高める。

○学校運営協議会委員と教員との情報交換の場を設ける手立て。

- ・来年度も学校運営評議員と教員との情報交換の場を作る。4月上旬に、学校支援CDと学年主任とで打合せの時間を作り、いつ、何の支援に入ってもらうか見通しを立てる。

○いじめの取組みに関する手立て

- ・今年度も参観会後に全学年の保護者と5・6年の児童対象に情報モラル講座を実施する。参観会だけで保護者が帰ってしまわないように全保護者対象の講座にする。
- ・言葉遣いに関しては、TTYや委員会のプロジェクトと関わらせることで、児童に自分の言葉遣いについて考える機会を作る。